

基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.100 更新記録

2012/03/12
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. DLD-DEM-XML作成

メニュー「DLD-DEM-XML作成」にオプション「3点での計算も併用」を追加しました。

DLD-DEM-XML作成

標高値の計算方法

バイリニア補間法(BilinearInterpolation,共一次内挿法) 3点での計算も併用

TIN上の標高値

DEMファイル(txt)フォルダ(入力) 選択...

TINファイルフォルダ(出力・入力) 選択...

基盤地図情報ダウンロードデータJPGIS-XMLフォルダ(出力) 選択...

平面直角座標系

系番号 4.香川県 愛媛県 徳島県 高知県

DEMファイル(txt)のフォーマット X,Y,Z N,X,Y,Z グリッドセルサイズ(m) 5.0 TIN作成済み

ファイル名のー部 DEM5A 「DEM5A」 「DEM5B」 「dem5k」等

納品日(8桁) 20120314 ファイル名 ,fSpanFr,devDateに記録 8桁の数字(例20090315)

GI要素の属性

xsi:schemaLocation http://fgd.gsi.go.jp/spec/2008/FGD_DLD_Schema FGD_DLD_Schema.xsd

xmlns:pgs http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-03

xmlns http://fgd.gsi.go.jp/spec/2008/FGD_DLD_Schema

version 1.0

timeStamp 2009-03-15T00:00:00

exchangeMetaData,dataSet

基盤地図情報メタデータID 0-6 exchangeMetadadataに記録(例8-500)

作成日 2012-03-14 exchangeMetadadataに記録(例2008-03-31)

Citation 2012-03-14 exchangeMetadadataのmetadataCitationのdateに記録(例2012-03-14)

地物ID(連番以外) 10-00100-11-200001 fid,uuidに記録(例10-61002-8-4)

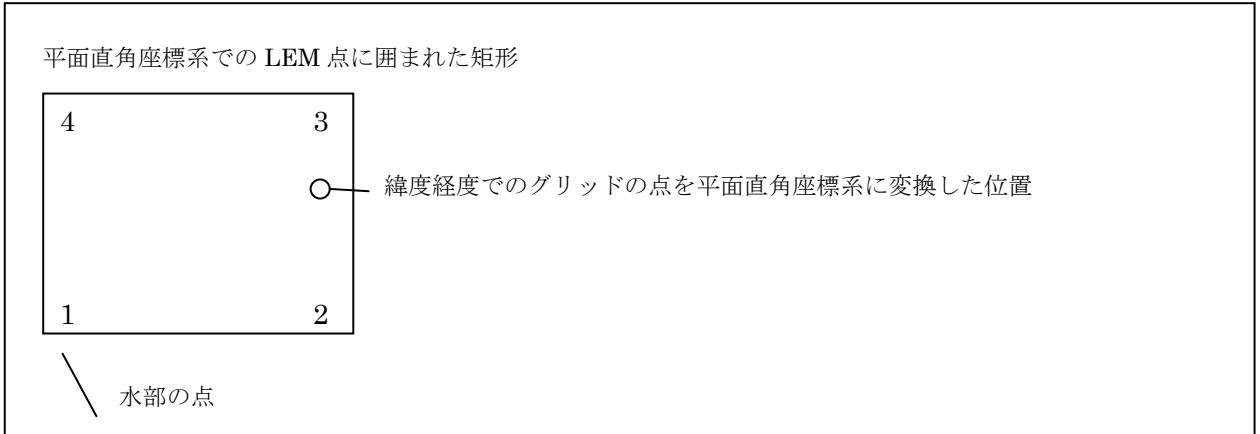
地物ID(開始番号) 1 fid,uuidに記録(例1297433) IDは3次メッシュコード

座標参照系の測地原子 iqd2000 iqd2011 入力ファイルに5列目(1,0,-8888,-9999)有り

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

3点での計算も併用

バイリニア補間法を使う際に、点を囲む4点のうち1点が水部(-9999,-8888)の場合には、陸部の3点で標高値を計算します。下図の例では、南西角の点1水部となっているため、点2,3,4がなす三角形から、注目する点の標高地を計算します。もし、注目する点が水部の点1を含む三角形1,2,4に入っている場合、標高値は計算できないので、XMLの種別は「データなし」になります。



ON の場合



OFF の場合

